

理學ノ到底成立シ得ヘカヲサル所以ヲ證明シ之ヨリシテ此學ハ一變シテ實驗的トナリ、テ生理的トナリ、遂ニ以テ今日所謂心理學ヲ生シ、全ク哲學ト關係ヲ絶スルニ至リシナリ、而シテ其ノ始メヲナシタルモノハ實ニ「カント」ナリキ、由リテ左ニ氏ノ説明ノ大要ヲ掲ク、

(三八八)

合理的心理學ノ駁論

抑モ合理的心理學ナルモノ、由リテ來レル根本ハ、我カ考フ「ナル」一語ニアリ、蓋シ思考スル我ハ是レ内官ノ目的物ニシテ精神是レナリ、外官ノ目的物タル我ハ、即チ身軀是レナリ、是ノ故ニ思考的ノ我ナル文字ハ心理學ノ目的トスル所ニシテ、之ヲ精神ノ合理的認識ト稱ス、余ハ今此ニ我ナル概念ヨリシテ推論シ得ラル、モノハ姑ク之ヲ置ク、經驗ヲ離レテハ、精神ナルモノニ付キテ如何ナル「ヲ」ヲモ知ル能ハザルヲ辯セントスルモノナリ、

若シ秋毫經驗ノ元素カ此中ニ入ルハ是レ最早ヤ合理的心理學ニアラスシテ、經驗的心理學ナリ、合理的心理トハ唯吾ハ考フナル一事ヨリシテ、我ハ實軀ナリ、我ハ行爲ノ原因ナリ等ト、心理學全軀ノ組織ヲ作り出サントスルモノナリ、即チ其主ナル性質ハ次ノ如シ、

- (一) 精神ハ實軀ナリ、
- (二) 其性質ニ關シテハ單純ナリ、
- (三) 其存在スル種々ノ時間ニ關シテハ數量上同一ナリ、即チ換言スレハ精神ハ唯一ニシテ多ニアラス、
- (四) 精神ハ空間ニ於ケル物軀ニ關シテ存在ス、ト是レナリ、

所謂純粹(經驗ヲカラサルニヨリ純粹ト云フ、即チ合理的ノ「ヲ」ナリ)心理學ノ概念ナルモノハ、單ニ此等ノ元素ノミニヨリ秋毫モ他ノ元理ノ助クヲカラスシテ成立スルモノナリ、即チ此實軀ナルモノハ單ニ是レ内官ノ目的物ナルカ故ニ、以テ不滅ノ概念ヲ與ヘ、單一的物軀ナルカ故ニ破壊スヘカヲサルモノ、概念ヲ與ヘ、其同一ノモノナルヨリシテハ、人格ナル思想ヲ得、此等ノ三性相合シテ、此ニ又有神の思想ヲ生スルナリ、又空間ニ於ケル物軀ト相關係シテ存在スルニヨリテ、肉軀ト相感ノ思想ヲ生セサルヲ得サルナリ

(三八九)

但シ此所謂我トハ單純ニシテ内容ナキ我ナル表彰ナリ、此我ハ決シテ概念ニアラスシテ一切ノ概念ヲ生セシムル表彰ニ過キササルナリ、吾人ハ此ノ如キ我ナルモノヨリシテ單ニ思考ニ於ケル先在的主觀ノ存在スヘキコトヲ推知シ得ルノミニシテ、其ノ他ハ一切之ヲ知ル能ハサルモノナリ、而シテ之ヲ知ルハ唯其ノ屬性ナル思考ノ助ケニヨルノミ、而モ主觀其ノモノニ付キテハ秋毫ノ知識ヲ得ルモノニアラストス、是故ニ此等ノ單純ナル概念ノミヨリシテハ、到底特殊ノ事實ニ於ケル認識ハ、之ヲ得ルヲ能ハサルモノト謂ハサル能ハス、乃チ此等ノ思想ノ助ケニヨリテ、以テ心理學ヲ構成セントセハ、必ラスヤ循環論理ノ謬論ニ陥ラサルヲ得サルナリ、然レモ吾人ハ、通常吾人ノ思考シ得ルヲハ、其思考スル物體ニ關シテモ、亦正確ナルヲ得ルモノナリト信スルカ如シ、是レ抑モ何ノ故ニシテ然ル乎、同ク是レ認識ノ先天的情件ヲ以テ意識ノ表彰ト混一スルニ起ルモノナリ、抑モ我ナルモノニ付キテハ決シテ外界經驗ノ助ケニヨリテ知了シ得ルニアラス唯自己意識ニ由ルノミ而シテ其ノ意識ニ表彰セラレ來ル所ノモノハ、是レ我ノ眞體ニハアラスシテ、唯其ノ表彰ニ過キササルナリ、是故ニ我ナルモノカ實在スト考フルハ、是レ外物ノ意識ト

同シク自己ナルモノ、意識ヲ外界ニ移シ出シタルニ外ナラス、之ヲ要スルニ吾人ハ思考ストノ一事ヨリシテ、我ナルモノカ實在スト云フカ如キハ、是レ全ク未決的ノトニ屬スト謂ハサルヘカラス、
若シ此說ヲ助ケルニ思想發達ノ狀態ヲ觀察シ、其ノ間ニ於ケル理法ヲ研究スルニ於テハ、是レ已ニ經驗的心理學トナラサルヲ得サルナリ、合理的心理學ニアリテハ、單一ナリ等ト云フカ如キ經驗的性質、及ヒ思考的物體ノ性質等ニ至リテハ、決シテ之ヲ斷言シ得ル所ニアラトナス、以下尙ホ少シク之ヲ述ヘン、
抑モ吾人カ吾人ヲ認識スト云フコトハ、決シテ思考ニヨリテ吾人ノ意識ニ表彰セラレ、ニ由ルニアラスシテ、自己ノ直觀ノ意識ヲ通セサルヘカラサルナリ、吾人ノ意識中ニ於ケル自己意識ノ一切ノ變態ハ、是レ物體ノ概念ニアラスシテ、唯吾人カ論理的推論ノ結果タルニ過キストス、故ニ吾人ハ自己ヲ一ノ物體トシテ知り得ルヲ能ハサルナリ、

一切ノ判斷ニ於テ、我ハ其間ニ存在スル關係ヲ定ムル所以ノモノナリ、思考スルモノハ常ニ主辭タラサルヘカラス、其目的物トナルヤ單ニ是レ同一命題タルノミ、而

モ此命題ニアリテ目的物タル我ハ、自存の物躰即チ實躰ナリトハ斷言スヘカラサルナリ、若シ此ノ如キ命題ヲ確定セント欲セハ、須ラク他ノ經驗ノ助ケヲカラサルヲ得ス、

(三九二)

次ニ自覺ノ統一ニ於ケル我ハ、單一的ノモノナリ、論理的單一ノモノナレハ、之ヲ以テ多ト謂フヘカラス、是レ最モ明了ナル分解的命題ナリ、然リト雖モ又之ヲ以テ我ハ單一ナル實躰ナリト云フト同一ナリト思惟スヘカラサルナリ、何トナレバ是レ綜合的命題ナレハナリ、
又次ニハ吾人ノ意識的ナル維多ノ表彰ノ中ニアリテ、我ハ常ニ同一ナリトノ命題モ、是レ其ノ概念ヲ研究スレハ、自カラ明了ナルトナレハ、又以テ分解的ト稱スヘキナリ、然レモ此ニ所謂我トハ、決シテ物躰トシテ與ヘラレタル主觀ノ直觀ヲ指スモノニハアラサルナリ、

終リニ吾人ハ吾人以外ノ物躰(固ヨリ此中ニハ吾カ身躰ヲモ包含ス)ヨリ思考的ナル我ヲ區別ス、然レモ是レ亦分解的命題ナリ、何トナレハ他物トハ即チ是レ自己ヨリ異ナリタルモノヲ指ス義ナレハナリ、但シ其ノ所謂異ナリタルモノカ、吾人以外ノ物躰ナリシチ其ノ意識ヲ得ル乎否ヤ、即チ之ヲ換言スレハ、吾人ハ思考的ノモノトシテノミ實在スルカ否ヤハ、吾人ノ知り得ル所ニアラス、又此命題ヨリシテ推論シ得ル所ニアラサルナリ、是レニ由リテ之ヲ觀レハ、吾人ハ如何ナル點ヨリシテ之ヲ論スルモ、吾人カ所謂我ナルモノハ、到底物躰トシテ之ヲ見ナストテ得サルモノト謂フヘキナリ、
之ヲ要スルニ合理的心理學ニ於ケル謬論ハ次ノ三段論法ニ約スルトテ得ルモノナリ、

- (一) 主觀トシテヨリ外ニ認識スルト能ハサルモノハ、主觀トシテヨリ外ニ實在スルトテ得サルモノナリ、故ニ是レ實躰ナリ、
- (二) 思考的ノモノハ單ニ思考的ノモノトシテ考フルルハ、主觀トシテヨリ外ニ認識セラレ得サルモノナリ、
- (三) 故ニ是レ實躰トシテ實在スルモノナリ、
ト是レナリ、然レトモ第一前提ニアリテハ、吾人ハ一般ニ認識セラル、モノ、即チ直觀ニヨリテ付與セラレ得ルモノニ付キテ云々スルナリ、然ルニ第二前提ニ於テハ、

(三九三)

單ニ思想及ヒ意識ノ統一ニ關シテ主觀ノヲ云々スルニ止マルモノトス、故ニ此
時ニアリテハ物躰トシテ表彰セラル、主觀トハ、全ク關係ナキモノタルナリ、故ニ
其ノ結論ハ論理上ノ謬見ニ陷ルモノト謂ハサルヲ得ス、而シテ其ノ論スル所畢竟
理性ニ於ケル思想ト概念トヲ混同シタルヨリ出テタルモノナリ、

以上自然界哲學ノ大要ヲ論シ了レリ、彼ノ所謂政法哲學、社會學、國家哲學等ノ如
キハ、皆是レ哲學ノ分派枝葉ニシテ、云ハ、以上ニ論シ來レル哲學的元理ヲ種々
ノ範圍ニ應用シタルニ過キサルナリ、故ニ哲學概論ニ於テハ、通常此等ノ論題ニ
入ラサルヲ以テ適當トナスナリ、乃チ合理的心理學ノ駁論ヲ以テ事象ノ學ノ終
トナス、以下之ヨリ品性ノ學ニ付キテ略說スヘシ、但シ倫理學及ヒ美學ハ本館別
ニ此科ノ設ケアルヲ以テ、此ニハ單ニ其大要ヲ提出シ、以テ足レリトナサ、ルベ
カラズ

第七 倫理學

余輩ハ叙論ニ於テ已ニ倫理學ノ定義及ヒ其ノ解釋ヲ與ヘタリ、其ノ要ニ曰ク倫理
學ハ所謂道德的意志ヲ論スルモノニシテ、人間ノ道德上ニ於ケル性質及ヒ企望ヲ

研究スルナリ、尙ホ言ヲ換ヘテ之ヲ云ヘハ、倫理學トハ即チ吾人カ行爲ノ善惡ヲ論
スルナリ、故ニ其ノ主ナル問題ハ、最高善トハ如何ナルモノナル乎、正邪トハ如何ナ
ルモノナル乎、吾人ノ意志ハ自由ナル乎、或ハ自由ナリトハ單ニ吾人カ空想ニ過キ
サルモノナル乎、善ト云ヒ惡ト稱スルモノハ、吾人カ意志ノ如何ナル状態ナルカ、吾
人カ行爲ノ際ニ於テハ如何ナル理法ノ下ニ服從セサルヘカラサルカ等是レナリ、
此ノ知ク倫理學ハ吾人カ行爲ノ元理ヲ研究スルモノナルニヨリ、又特ニ之ヲ實踐
哲學トハ稱スルナリト、
倫理的ノ思想ハ單ニ哲學上ノ元理若シクハ經驗ノ材料ヨリシテ之ヲ推究スル
甚タ困難ナリトス、吾人ハ善ト云ヒ惡ト稱スルモノニ付キテハ、吾人ノ良心ノ命ス
ル所ニ從ハサルヘカラス、故ニ良心ト善ト及ヒ惡ト稱スル所ノモノヲ、注意シテ之
ヲ蒐集シ以テ其ノ元理及ヒ主要ナル性質ヲ發見セサルヘカラサルナリ、是レニ由
リテ又古來種々ノ倫理學派ヲ生セリ、蓋シ是レ極メテ平易明了ナル思想ヨリシテ
高尚ナル元理ヲ歸納シ來ラントスルヨリ起ルモノトス、

(一) 哲學的倫理學

哲學的倫理學トハ「デカール」ト「スピノーザ」ト「ライブニッツ」ト「ヘーゲル」ト「フイヒテ」ト「シオツベ
 ヲハワー」ト「ハートマン」ト「諸氏」ノ唱フル所ニ係ル、凡ソ大陸ノ哲學者ハ大抵皆此傾向ヲ
 有スルナリ、此等ノ哲學者ノ哲學的見解ニ付キテハ、前已ニ之ヲ略述セリ、而シテ其
 ノ唱フル所ノ學說タル固ヨリ千種万類ニシテ、一轍ニ出ツルモノニアラス、而モ此
 等ノ學者カ世界ノ哲學的見解ヨリシテ、以テ倫理ノ元理ヲ推察シ來タラントスル
 ニ至リテハ蓋シ皆符節ヲ合スルカ如キナリ、
 故ニ哲學的倫理學者ノ下ニ列記セラル、哲學者ハ、其ノ倫理學上ノ意見ニ於テ必
 ラスシモ合スル所アルニアラス、啻ニ相類セサルノミナラス、甚シキニ至リテハ非
 常ノ徑庭ヲ生スルモノ之ナキニアラス、而モ之ヲ總括シ、以テ一類ノ下ニ列スルモ
 ノハ、唯其ノ方法一ナレハナリ、哲學的倫理學者カ論スル方法ハ先ツ次ノ如キナリ、
 世界ノ本身ハ此ノ如キナリ、世界ノ目的ハ此ノ如キナリ、故ニ此種ノ行ハ善ニシテ
 彼ノ様ノ行ハ惡ナリ、如何ナルモノヲカ善トナス、善トハ即チ世界發達ノ目的ト一
 致シ、之ヲ現實セシムルニ於テ多少ノ助ヲ與フルモノ是レナリ、如何ナルモノヲ惡
 トナス、惡トハ万有ノ進化ヲ妨ケ之ヲ現實セシムルニ多少ノ助ケヲ與フルモノ是

レナリ、是ヲ以テ世界万有ノ目的ヲ以テ一個人ノ目的トナスモノハ善人ニシテ、之
 ニ反スルモノハ惡人ナリ、善惡ノ區別ハ多言ヲ要セス、唯世界ノ目的ニ對シテ裨補
 スル所アリヤ否ヤヲ顧ルノミ、吾人カ一度ヒ世界ノ目的ノ何タリヤヲ發見セハ、如
 何ナルコトハ之ヲナシ、如何ナルコトハ之ヲ爲スヘカラサル乎モ、之ヲ決スル實ニ容易
 ナルナリト、

上來述フルカ如ク哲學的倫理諸家ノ說ハ決シテ一定スルモノニアラサルヲ以テ
 今茲ニ之ヲ汎論スルコト能ハス、乃チ「スピノーザ」ノ倫理說ノ一斑ヲ掲ケ、以テ其ノ論
 理ノ標準ヲ示ス、

「スピノーザ」ノ倫理說ニ以爲ラク、人ノ世ニアル誰レカ善ヲ求メ惡ヲ避ケサルアラ
 ンヤ、然ラハ善トハ何ソ、曰ク吾人カ必ラス其ノ己レヲ利スルアルコトヲ知ルモノ是
 レナリ、惡トハ何ソ、曰ク善ヲ得ントスルニ於テ必ラス吾ヲ妨ケントスルモノ是レ
 ナリ、而シテ吾人ハ皆其ノ遂ニ到達セント欲スル所ノ理想ナルモノヲ有ス、吾人ヲ
 シテ之ニ近ヨラシメントスルモノハ、即チ是レ所謂人ニ利用アルモノナリ、吾人ハ
 又必ラス皆其ノ自己ニ對シテノ善ヲ希求セサルハナキナリ、蓋シ吾人ノ世ニ生レ

生命ノ長カラシムヲ願フハ、是レ其ノ免ルヘカラサルノ情ナリトス、是故ニ自家保存ヲ以テ人生ノ目的トナス、又決シテ不可ナルヲナカルヘシ、而シテ德亦之ニ外ナラス、乃チ知ル、自家ヲ保存セント欲スル念ノ愈甚シキハ、其ノ德ノ愈高尚ナルモノタルヲ、若シ人ノ此世ニ生存スルヲナクシハ、何ヲ以テ幸トシ何ヲ以テカ不幸トセン、道德ノ事業ヲ行ヒ、幸福快樂ヲ求ムル所以ノモノモ、亦皆自己ノ存在スルカ爲メニアラスヤ、故ニ人生ノ事業ニ於テハ、自己ノ存在ヲ以テ第一必用ノモノトナス、否、自己保存ノ感ナクシハ、德ノ思想モ又由リテ以テ生スルニ處ナカルヘシ、自家ノ保存ハ是レ最終ノ目的ニシテ、決シテ他ノ目的ノ爲メニ存在スルモノニアラサルナリ、故ニ之ヲ以テ德ノ最終根元トナス、然ラハ如何シテ以テ吾人ヲ保存スヘキカ、曰ク是レ唯吾人カ理性ノ命ニ從フニアルノミ、

然レモ自家ヲ保存スルニ於テ、吾人ニ裨益ヲ與フルモノ實ニ尠少ニアラス、世人カ所謂德ナルモノハ、即チ皆之ニ外ナラス、然リ而シテ其中ニ付キテ最モ高尚ナルモノハ神ノ愛ナリトス、蓋シ神ヲ愛スル所以ノモノハ、唯之ニ由リテ以テ浮世ヲ脱却シ、絶對ト冥合スルカ爲ノミ、而シテ神ヲ愛スルノ法他ナシ、唯情ヲ制シ、理ニ從ヒ、漸

ニ德ヲ積ミ、遂ニ高尚ノ域ニ至ルニアリ、

人心ニ於テ最モ高尚ナル平和ノ状態ハ、即チ智識ノ第三種(智識論ノ部参照)ヨリ來ルモノトス、蓋シ此種ノ智ハ宇宙ノ事業ヲ取リテ、總ヘテ之ヲ合理的ニ了解スルモノニシテ、合理的ノ智識ハ永存不變ノモノナリ、是故ニ之ヨリシテ生シ來ル平和ノ状態モ亦曾テ變易スルヲアルナキナリ、乃チ之ヲ天幸ト謂フ、此德ハ已ニ人生ニ於テ最モ高尚ノモノタリ、是レヲ以テ其ノ報酬トスル所、亦幸福ノ類ニアラスシテ、德其ノ物ナリトス、而シテ吾人ノ此德ヲ享有スル所以ノモノハ、之ニ由リテ以テ吾人ノ感情的快樂ヲ去絶スルカ爲メニアラスシテ、反リテ之ヲ享有シ得ルニアリ、唯之ヲ享有シ得ルニヨリ、又之ヲ制御シ得ルモノナリト、意フニ「スピノーザ」ハ之ニ由リテ以テ快樂主義ト嚴肅ナル道德主義トヲ調停セント企テタルモノナルヘシ、

已ニ云フ、德ハ自己ヲ保存スルニアリト、然レモ最高ノ德ヲ目的トナシ以テ世ニ生スルモノハ、唯ニ自家ノ幸福ヲ享クルノミヲ以テ満足スルヲ能ハス、勢ヒ必ラス其ノ己レカ利トスル所ヲ以テ之ヲ同胞ニ分タントスルニ至ルヘシ、蓋シ理性ノ命ハ一個人ニ限ルモノニアラスシテ、一般人間ニ之ヲ應用シ得ヘキモノナレハナリ、是

故ニ理性ノ命ニ從ヒ、自家ヲ保存スルト欲セハ、知ラス識ラス又其ノ己レカ利トスル所ヲ分チテ、之ヲ他人ニ付與スルニ至ルナリ、是ニ於テ乎「スピノーザ」ハ又其ノ自己主義ヲ以テ博愛主義ト合一ス、

之ヲ要スルニ、スピノーザハ以爲ラク、道德ノ大本ハ自己ノ保存ニアリ、之ヲ助クルモノハ善ニシテ、之ヲ害スルモノハ惡ナリ、而シテ其ノ善ノ中ニ付キ、神ヲ愛シ以テ平常ノ實躰ト冥合スルヲ以テ尤モ貴シトナス、蓋シ宇宙ノ万有ハ、其ノ大本一實躰ノ外ニ發表シ、分レテ二性トナルモノナレハ、吾人亦是レ實躰ノ一部タルナリ、乃チ之ヲ冥合セハ、平和ヲ享ク安心ヲ得ト雖モ若シ之ニ反シ、獨立分離スルトハ、決シテ之ヲ享有スルコト能ハサルナリト、

此ノ如ク經驗ノ材料ニ由ラス、自家所見ノ哲學的根莖ヨリシテ論シ來ルモノ、總ヘテ之ヲ哲學的倫理說ト稱スルナリ、而シテ其ノ中ニハ又利己主義アリ、利他主義アリ、此等ハ又他ノ類別ニ屬ス、故ニ倫理學ノ類別ハ、同一學說ニシテ二個若シクハ二個以上ノ部類ノ中ニ入ルコアルモノナリ、甲ノ部類ハ必ラスシモ乙ノ部類ト撞着シ相容レサルモノニアラス、是レ倫理學ノ分類前來ノ分類ト相異ナル學ナリ、讀者

幸ヒニ之ヲ記セヨ、

若シ哲學的倫理學者カ唱フル所ノ所謂吾人ノ從ハザルヘカラサル世界ノ目的ナルモノニシテ、十分ニ吾人ニ知ラレ得ルノミナラス、又其最モ價アルモノニシテ、秋毫ノ非難スヘキナキモノナラシメハ此等學者ノ善惡ノ標準ナルモノハ、恐ラクハ善良無欠ノモノナラン、然レモ奈何セン此ノ如キ目的ハ吾人ノ容易ニ知悉スル能ハサルモノナルコト、假令ヒ或ル論者ノ唱フルカ如ク、此類ノ知識ノ全然否定セラ、ル、ナシトスルモ、之ヲ得ルハ果シテ幾千万年ノ後ニアリヤ知ルヘカラサルナリ、而シテ倫理學ハ是レ吾人カ日常行爲ノ學ナリ、如何ンソ此ノ如キ不確實ナル根莖ノ上ニ安ニスルコト得ンヤ、假リニ此ノ根本ノ上ニ立チ得ルトスルモ、其ノ完全ナルコトハ到底之ヲ望ムヘキニアラサルナリ、

哲學的倫理學ニ甚タ相似テ而モ非ナルモノアリ、之ヲ

(附) 神學的倫理學

トナス此說ハ前ノ哲學的倫理學ニ於ケル世界ノ最高目的ニ代ユルニ、倫理ノ最高者タル神ナルモノ、意志ヲ以テスルモノナリ、即チ以爲ラク神ノ意志ヲ遂クルモ

ノハ善人ニシテ、其ノ行爲ハ正義ニ合ス、何トナレハ是レ神ノ意志ト一致シ、彼ヲシテ樂マシムルモノナレハナリ、之ニ反シ、神ノ意志ニ從ハサルモノハ惡人ナリ、而シテ其ノ行爲ハ正義ト違背ス、何トナレハ是レ神ノ意志ヲ樂マシメサルモノナレハナリ、是故ニ其ノ制裁トシテ罰ヲ蒙ルヘシト、

左ニ中古時代ニ於ケル有名ナル哲學者、トーマス、アクイナスノ學說一斑ヲ述ヘ以テ神學的倫理學ノ一例トナス、

「アクイナス氏ハ以爲ラク凡ソ生ヲ天地ノ間ニ受クルモノハ其ノ果シテ道理ヲ究ムルノ力ヲ有スルト有セサルトヲ論セス、必ラス皆其ノ目的トスル所ナクンハアラス、而シテ其目的トスル所以ノモノニ付キテハ、古來種々ノ異說ヲ見、或ハ之ヲ以テ名譽ナリト云ヒ、或ハ權力ナリト云ヒ、或ハ又財産ナリトスルセノアリ、然レモ思フニ是レ皆非ナリ、何トナレハ此等ノモノハ一トシテ他ノモノニヨリテ作爲セラレサルナシ、然ルニ人生ノ目的トスル所ハ決シテ他ノモノニヨリテ作爲セラレサルヘケレハナリ、是レ即チ善ナリ、是故ニ善ノ最モ至レルモノハ神ナリ、何トナレハ神ハ一切活動的ノモノ、大元ニシテ、自家活動セサルモノナレハナリ、乃チ吾人カ

満足ヲ得、平和ヲ感セント欲スルモハ、必ラス神ニ願ハサルヲ得ス、加之自然界ノ万物亦皆知ラス識ラス之ニ向ツテ進マントス、吾人カ心理的ニ之ヲ論スルモト、神ノ完全ナルヲ觀スルヨリ生シ來ル善ノ念、即チ最高善ナリ、是レ吾人カ感シ得ル幸福ノ至レルモノナリ、

固ヨリ友情ノ如ギモ亦是幸福ノ一タラサルニアラズ、所謂最高善ニアラスト雖モ、而モ是レ惡事トハ謂フヘカラサルナリ、唯前ノモノニ比スルモハ大ニ其倫等ニ於テ劣レルノミ、是故ニ人間ノ事業ノ果シテ德ニ合スルモノナリヤ否ヤヲ檢スルニハ、先ツ其ノ人ノ目的如何ヲ顧ミサルヘカラス、而シテ之ヲ參フルニ外界ノ事情ヲ以テスヘシト、

神學的倫理學者ト雖モ其ノ說ク所必ラスシモ一定スルニアラス、但「アクイナス」カ神ヲ以テ其標準ヲ定ムルヲ見ハ、亦以テ其說ノ全豹ヲ窺フニ足ルヘシ、然レモ神學的倫理學者カ果シテ善惡ノ知識ヲ神ノ意志ヨリシテ得來ラント欲スルモノトセハ、是レ實ニ大ナル誤リニ陷ルモノト謂ハサルヘカラス、抑モ善ノ善タル所以ハ、神ノ之ヲ欲スルニヨリテ善タルニアラス、善ハ其ノ行爲自家ニ於テ善タ

ルノミ、神ノ意ヲ満足セシムルノ一事カ、善惡ヲ決スル標準トハナスヘカラサルナリ、否、善惡ハ神ノ果シテ之ヲ欲スルト否ヤトニ關係ナキモノナリ、神果シテ完全ナラハ必ラスヤ又善事業ヲ欲スヘシ、然レモ其之ヲ欲スルハ、唯其行爲ノ善ナルカ爲メナリ、尙ホ之ヲ約言スレハ、行爲ハ神ノ之ヲ欲スルカ爲メニ善ナルニアラスシテ、善ナルカ爲メニ之ヲ欲スルナリ、神ノ意志ハ唯善ヲ善ト認ムルノミニシテ、決シテ善ヲシテ善タラシムルモノニアラス、神學的倫理學者ハ全ク論理ノ順序ヲ顛倒シ、結果ヲ以テ原因トナシ、原因ヲ以テ結果トナス、其ノ取ルヘカラサルヤ知ルヘキノミ、

神學的倫理學ナルモノハ已ニ宗教ヲ基礎トシ、宗教ト倫理學トヲ合一セシメントシテ起レルナリ、宗教的思想尙ホ一步ヲ進メ、來ルヤ、此ニ神秘的倫理學ナルモノヲ生ズ是レ勢ノ正サニ然ル所、猶ホ哲學ニ於テ宗教的哲學ヨリ神秘論ニ移ルカ如キナリ、是故ニ神秘的倫理學ハ、神學的倫理學ニ於ケル宗教的(即チ神秘的)元素ノ一層擴大セルモノト見ナシテ可ナリ、哲學上ヨリ觀察スルトキハ、神秘論中見ルヘキノ思想頗ル多キカ如ク、神秘的倫理學ニ於テモ其ノ教フル所ノ甚タ高尙ニシテ、吾人

ノ參考ニ供スヘキモノ鮮少ナリトセス、唯其ノ一般ノ傾向神秘ナルヲ以テ、一ノ倫理學トシテ確立スル能ハス、

「エツクハルト」ハ中世期ニ於ケル有名ナル神秘學者ナリ、左ニ氏ノ說ヲ略述シ以テ其一斑ノ傾向ヲ示スヘシ、

「エツクハルト」氏ハ以爲ラク、吾人ノ知識ハ是レ道德ノ根本ヲ成スモノタリ、何トナレハ知識ナケレハ吾人神ノ何物タルヲ辨識スルコト能ハサレナリ、抑モ吾人カ事物ヲ研究シ之カ知識ヲ得ル所以ノモノハ、之ニ由リテ以テ漸ニ有限ノ境界ヲ脱却セント欲スレハナリ、吾人ノ知ノ漸ヲ以テ進歩開發スルヤ、遂ニハ一室ノ限界ニ達セサルヲ得ス、而シテ吾人カ一度ヒ此處ニ到ルヤ、之ヨリシテ最早ヤ一步モ進ムコト能ハサルモノナリ、是ニ於テ乎神ハ吾人ヲ助ク、吾人ヲシテ無識ノ境界ニ入ラシム、而シテ竟ニハ神ト一致冥合スルニ至ルナリ、吾人ノ此ニ達スルヤ、万物モ其ノ差別ヲ失ヒ、漠然無差別ノ境ニ入ル、而シテ是レヲ知ノ至レルモノトナス、

人生ノ目的トスル所亦實ニ精神ヲ本來ノ形態ニ回復シ、無限ノ絶對ト合一ナラシムルニアリ、而シテ所謂道德トハ唯之ニ途ヲ啓ク所以ノモノ、ミ、即チ自己ナル者

ノ死スル所以ヲ教ユルモノナリ、何トナレハ自己ノ死即チ是レ神ト冥合スル唯一ノ手段ナレハナリ、然ラハ如何シテ吾人ハ自己ノ死ヲ得ヘキ乎、曰ク唯一切活動的ノ作用ヲ遏止シ以テ受働ノ状態トナルヘキナリ、吾人カ活動ノ力アル間ハ決シテ神ノ之ニ入ルヲ能ハサルナリ、而シテ受働的狀態ノ尤モ至レルモノハ、果シテ如何ナル境遇ニ陥ルモ、毫モ之ニ屈ルヲナク、全然自己ノ意志ヲ放抛シ、一心神ノ意ニ服従スルニアリトス、之ヲ神ノ中ニ吸收セラル、モノト稱ス、此時ニ當リテハ浮世ノ榮枯万端ノ差別、悉ク消滅シ、安心立命ノ位置ヲ得ルモノナリ、此處ニ至ラサレハ吾人ハ其ノ本來固有ノ地位ニ到達シ得ルモノニアラス、故ニ氏又曰ク、德行ハ目的ナキノ行爲ナリ、苟モ自己意志ノ存スル限りハ、真正ノ徳ハ決シテ成レルモノニアラスト、

此ノ如ク真正ノ徳ニ到着セハ、自己ハ遂ニ無識トナラサルヲ得ス故ニ徳ハ是レ爲ストニアラスシテ一ノ状態タルノミ、
又曰ク、徳ハ唯一ノミ、徳ニ多種アリト云フハ、是レ大ナル謬見ナリ、徳ノ骨子トスル所ハ愛是レナリ、愛トハ善ヲ求メ之ヲ慕フト是レナリ、而シテ善トハ神ノ愛即チ是

レナリ、是故ニ宗教家カ或ハ苦行シ、或ハ斷食シ、以テ徳ヲ積マントスルハ大ナル僻見ナリ、吾人々類ノ事業ハ善ニアラス又惡ニアラス、善惡ハ全ク吾人カ意志ヨリシテ生スルナリ、乃チ如何ニ苦行ヲ爲シ斷食ヲ行フモ、吾人カ精神眞ニ神ヲ求ムルニアラサレハ、何ノ用力之レアラン、故ニ氏又曰ク、聖人ノ行爲ハ其ノ道德法ニ合スルヨリシテ發スルニアラスシテ、唯其ノ信ヨリシテ生スルモノナリト、

(二) 進化論倫理學

進化論倫理學トハ所謂進化説ヲ基礎トシ之ニ由リテ以テ倫理學ヲ確立セントスルモノナリ、故ニ哲學的倫理學カ倫理ノ大本ヲ純正哲學ヨリ取り來ラントセシカ如ク、進化論倫理學ハ之ヲ經驗的材料ヨリシテ取ラントセルモノナリ、而シテ殊ニ動物ノ學ヲ以テ其説ノ基本トナス、

抑モ動物學ノ研究ハ、吾人ニ如何ニセハ吾人カ生存ニ最モ適當スル乎トノ方法ヲ教ユルナリ、即チ之ヲ換言セハ、吾人身體ノ健康及ヒ活力ヲ永遠ニ維持保存セントスルニハ、如何ニスヘキカヲ示スモノナリ、故ニ吾人カ若シ永ク人生ヲ享有シ活力ヲ増進セント欲セハ、即チ換言スレハ、健康強壯ニシテ愉快ナル生活ヲ消セント欲セハ、

吾人ハ動植物學ノ教ユル途ニ從ハサルヘカラス、是レ即チ善ナリ、何トナレハ所謂善トハ此等ノ法ト一致スル行爲ニシテ、能ク上來ノ目的ニ調攝セラレタルヲ云ヘハナリト、

進化論倫理學者ニシテ最モ有名ナルハ「スチブソン」及ヒ「スペンサー」ニ氏ナリトス、左ニ「スペンサー」氏ノ倫理說一斑ヲ掲ク、但シ氏ノ說ハ進化論倫理學ノ次ニ述フル人類の倫理學ト二者相混スルモノト知ルヘシ、

抑モ行爲トハ何ソ、曰ク行爲トハ目的ニ應シ之ニ向ツテ爲シタル活動ヲ云フ、然ラハ道德上(正邪)ノ行爲トハ何ソヤ、曰ク善ハ其ノ目的ニ能ク應シタル行爲ナリト然レトモ氏ノ定義ハ甚タ不完全ナルモノナリ、何トナレハ能ク應シタルノ語已ニ今説明セントスル善ノ義ヲ包含スルモノナレハナリ、但シ又「スペンサー」ノ說ニヨレハ、能ク十分ニ一定ノ目的ニ應スルモ必スシモ悉ク善良ナル行爲ト稱スヘカラス、其ノ行爲ノ目的トスル所ノモノ已ニ善良ナル目的ナラサルヘカラス、而シテ善良ナル目的ニハ三種ノ別アリ、即チ

(一) 個人ノ保存、

(二) 種屬ノ保存、

(三) 此二者調和シテ目的トナルモノ、

ト是レナリ、而シテ第一第二ハ之ヲ比較的ニ善良ナル目的トナス、何トナレハ此等ノモノハ常ニ調和シ得ルモノニアラス、時トシテハ互ニ相撞着シ、個人ヲ利セントセハ種屬ヲ害シ、種屬ニ利セントセハ個人ヲ害スルヲ往々ニシテ之アレハナリ、若シ個人ヲ利シ併セテ種屬ヲ益スル如キモノナルトキハ之ヲ純然タル善良ノ目的トナスナリ、

然レモ又一方ヨリシテ「スペンサー」ノ言ヲ研究スレハ、唯ニ人生ヲ保存スルノミニテハ、之ヲ善ト謂フヘカラス、氏以爲ラク、人生ヲ保存スル行爲ハ善ニシテ、之ヲ害シ之ヲ碍クルモノハ惡ナルハ固ヨリ論ヲ俟タス、而シテ生活ナルモノハ吾人何人モ共ニ欲スル所ノモノナリ、故ニ又次ノ如クニ之ヲ言フヲ得ヘシ、曰ク行爲ハ其ノ最終ノ結果ノ愉快ナル乎、或ハ苦痛ナルカニ從ヒ、或ハ善或ハ惡ト稱スヘキナリト、又曰ク、人生ヲ維持スルモノナリト云フハ、唯之ヨリシテ苦痛ノ感情ヨリモ一層多クノ愉快ナル感情ヲ受クルヲ得ルニ由リテナリ、人生ヲ維持スルト否ヤトニヨリ

テ之ヲ善ト云ヒ惡ト云フモ、亦全ク此假定ヲ立タル後ノコトナリト、是レニ由リテ之ヲ觀レハ、人生ヲ維持スルニハ即チ苦痛ノ感ヨリモ、一層多クノ愉快ノ感ヲ得ルニヨルモノナリ、而シテ、快樂ノ感ヲ與フルモノハ、善ニシテ、之ニ反スルモノハ惡ナリ、故ニ快樂ノ念ハ又以テ人生行爲ノ善惡ヲ決スルノ標準トナスヲ得ルモノナリト、是ニ於テ乎「スペンサー」ノ人類の發起點ハ、變シテ功利教ノ學說ト、一致スルニ至レリ、然ラハ如何ナル時ニ於テ吾人ノ行爲ガ能ク其ノ目的ニ應スルモノナル乎、即チ人類ヲ保存スルニ最モ適シタル行爲ハ、如何ナルモノナル乎、善良ナル行爲ノ性質ヲ明カニセンカ爲メニ、氏ハ四種ノ觀察ヨリシテ之ヲ説明セリ、

(一) 物理的觀察 此觀察ニヨレハ行爲ノ愈高尙トナリ愈能ク目的ニ相應スル

ルハ次ノ如キ徵候ヲ呈ス、

(イ) 凝集結合スルコト、 (ロ) 形態ノ固定スルコト、

(ハ) 多種ニシテ異類相生スルコト、 (ニ) 一定ノ調和平均ヲ得ルコト、

是レナリ、凡ソ善良ナル行爲トハ、即チ能ク發達シタル行爲ノ謂ニ外ナラサレハ、行爲愈高尙トナレハ、愈此等ノ性質ヲ示スニ至リ、吾人カ所謂道德的行爲ト稱スルモ

ノハ、其ノ最上ノ處ニ到着シ、此等性質ノ最モ著シク著ハレ出ツルナリ、

(ハ) 生物的觀察 内部ノ關係愈能ク外部ノ關係ニ應スルルハ、之ヨリシテ又愉快ナル感情伴ヒ生スルモノナレハ、是レ吾人カ活力ヲシテ愈強大ナラシムルモノ

ナリ、故ニ行爲カ愈完全ナルルハ、即チ「スペンサー」ヲ語ニヨレハ、愈善良トナルルハ、吾人カ生活機能亦愈多種複雜トナリ、漸々生活ノ事情ニモ能ク適應スルカ如クニ發達シ來ルヘシ、已ニ云フカ如ク苦痛ハ生活機關ニ有害ナル作用ト相伴ヒ、快樂ハ健全ナル作用ト相伴フモノナルコトヲ知ルルハ、快樂ヲ生スル行爲ハ善ニシテ、苦痛ヲ生スル行爲ノ惡ナルコト亦固ヨリ明了疑フヘカラサルナリ、乃チ行爲ノ進化ト生物ノ進化トハ正サニ同様ナルコトヲ知ルヘシ、

(三) 心理的觀察 稍高尙ナル生物ニ付キテ之ヲ觀察スルニ、其ノ機能愈發達進化するルルハ、直チニ吾人カ感スル所ノ感覺ヨリモ、再生ノ感覺愈勢力ヲ得ルモノナリ、而シテ之ニ由リテ以テ活力ヲ増加シ、行爲ヲ改善セシムルナリ、故ニ直覺的的感覺ヨリモ寧ロ再生ノ感覺勢力ヲ得ル行爲ハ之ヲ善ト稱スヘシ、

此ノ如ク直覺的ノ感覺ハ常ニ再生的ノ感覺ニヨリテ支配セラル、モノナレハ、吾

人カ漸ニ進化スルニ從ヒ、所謂良心ナルモノヲ生ス、而シテ之ニ由リテ以テ強迫的
 行爲ノ漠然タル思想ヲ拘クニ至ルナリ、吾人ハ其初メ單ニ近クシテ直覺的ノ感覺
 ニヨリ支配セラルト雖モ、漸々文化進ミ、知識増スルハ遠ク未來ノヲ考ヘ、一層善
 良ナル感覺ニヨリテ以テ其ノ直覺的ノモノヲ制シ行クナリ、之ト同時ニ、又外界ヨ
 リハ同胞ノ非難、復讐ノ恐れ、宗教上ノ罰、又輿論ノ攻撃等ニ對スル感情ニヨリテ助
 ケラレ、其力愈強大トナルナリ、此等感情ノ結果即チ良心トナルナリ、即チ、スベンサ
 ーニヨレハ道德上義務ハ再生感覺カ有スル所ノ權力ヨリシテナレル抽象的感情
 タルニ過キササルナリ、而シテ其ノ良心ニ特有スル吾人ヲシテ強行セシムル所以ノ
 力ハ外界ニ全ク吾人カ恐怖ノ情ヨリシテ生スルモノナルヲ知ルヘキナリ、

(四) 社會學的觀察 倫理學ハ如何ナルモノカ、外界ノ事情ニ最モ適當スルモノ
 ナルカ、即チ之ヲ換言スレハ、吾人ノ生命ヲシテ長カラシメシカ爲メニハ、當サニ如
 何シテ可ナル乎トノ問題ヲ研究スルモノナリ、而シテ吾人ノ行爲ノ如何ナルモノ
 カ善ニシテ、如何ナルモノガ惡ナル乎ハ皆其ノ時ニ於ケル外界事物ノ情態ニヨリ
 テ變遷セサルヲ得ス、從テ又正義ナルモノモ自カラ異ナラサルハナシ、例之ヘハ戰

時ニ於テハ個人ハ皆其ノ社會ノ爲メニ生命ヲ棄テサルヘカラス、故ニ此時ニハ社
 會ノ爲メニ死スルコト是レ正義ナリ、然ルニ平和ノ時代トナレハ、最早ヤ戰死ハ必要
 ノ行爲ニアラスシテ、共同作用最モ肝要ナル行爲トナル、乃チ人々相當ノ報酬ヲ得
 ルヲ以テ正義トナス、而シテ社會尙ホ一步ヲ進ムルハ他人ヲ害セサルノミナラ
 ス、又之ヲ助クルヲ以テ正義トナスカ如シト、

吾人カ生活ノ狀態ニ於ケル知識十分ニ完全ニシテ、如何ナル場合ニ遭遇スルモ、其
 ノ取ルヘキ道ヲ精密ニ定ムルヲ得ルモノナラシメハ、生物ノ研究ヨリシテ吾人
 ハ方サニ大ナル利益ヲ受ク、甚タ愉快ニ一生ヲモ經過スヘシ、然レモ吾人ノ此ニ疑
 フヘキハ、此ノ如キ幸福愉快ナル生活ハ、果シテ其レ道德上善良ナル生活ナル乎、此
 ノ如ク一生ヲ經過スルコト果シテ是レ吾人カ義務ナル乎、此重大ナル問題ニ對シテ
 進化論倫理學者ハ實ニ輕々ニ看過セリ、

動物ノ研究ヨリシテ吾人ノ一生中注意スヘキ忠告ハ實ニ多ク之ヲ得來ルヘシ、
 然レモ倫理上ノ命令ハ決シテ之ヲ得ヘキニアラス、即チ動物ノ學ハ、若シ吾人カ
 生命ヲ長ク保存セント欲セハ、此ノ如ク行爲スヘシト教ユルモ、吾人ハ生命ヲ保存

セサルヘカラス、又此ノ如ク行爲セサルヘカラストハ云フヲナシ、即チ假設的命令
ハ之ヲ得ヘキモ、無上命令ハ之ヲ得ヘカラスナルナリ、抑モ生命ヲ保存シ、健康ニ愉快
ナル生活ヲ送ルハ、吾人カ自然ノ欲ナリ、然レモ是レ決シテ道德上賞スヘキト爲
スヘカラス、之ヲ怠ルハ賢ナラスト雖モ、而モ決シテ不道德ナリトハ謂フヲ得サル
ナリ、

進化論理學ノ結論カ愈明了トナルハ所謂

(附) 人類的倫理學

ニアリ、此說ニテハ以爲ラク、人性ノ欠タヘカラスナル知識ハ、人類ノ分析的研究所ニヨ
リテ明了ナルヲ得ヘシ、吾人ハ成ルヘク丈ク十分ニ人性ノ本來ノ性質ヲ發揚ス
ルカ如ク、吾人ノ有スル所有能力ヲシテ發達セシメサルヘカラス、而シテ其ノ如何
様ニシテ之ヲ成スヘキカハ、人類學ノ研究所ニヨリテ之ヲ知ルヲ得ト、而シテ此等
ノ論者ハ其ノ結論ニ至リテ曰ク、天ハ吾人ニ一定ノ能力ヲ與ヘ、吾人ヲシテ十分ニ
之ヲ發達セシムト、故ニ之ヲ發達セシムルヲ即チ吾人ノ務ムヘキ天職ナリト、
然レモ此結論ハ正鵠ヲ得タルモノニアラス、何トレナハ此ノ如キ結論ハ決シテ單

ニ人性ノ研究所ニヨリシテ得來ルヲ能ハサレハナリ、之ヲナサンカ爲メニハ必ラ
スヤ氏ニ一ノ哲學上ノ假定ナカルヲ得ス、吾人カ果シテ天ヨリシテ能力ヲ與ヘラ
レタルモノナリトスルモ、之ヲ發達セシムルヲハ、吾人カ道德上ノ義務ナリヤ否ヤ、
人類學者モ亦許スヘシ、善良ナル能力ノミカ發達セラレサルヘカラスト、然ラハ如
何ナルモノカ果シテ善良ナル能力ナル乎、單ニ人性ヲ分析的ニ研究所ノミニテ
ハ、決シテ其ノ保存スヘキ善良ナル能力ト、其ノ棄ツヘキ害惡ナル能力トハ、之ヲ區
別スルヲ能ハサルニアラスヤ、若シ果シテ然リトセハ善惡ノ標準ハ、必ラス他ヨリ
取り來ラサルヘカラス、或ハ曰ク、人類ノ生命ヲ保存シ、之ヲ改善スルモノハ善良ナ
ル能力ナリト然ラハ再ヒ問フヘシ、人世ヲ保存シ活力ヲ増進スルヲハ、何故ニ道德
上善良ナル乎、而シテ吾人ハ果シテ此ノ如キ能力ヲ發達セシムヘキ義務ヲ負フモ
ノナリヤ否ヤ

(三) 功利教

功利教トハ、ベソザムノ先ツ之ヲ唱フルアリテ、ミルノ後ニ之ニ和シタルモノナリ、
此說ハ最多數ノ最大幸福ヲ求ムルモノニシテ、其ノ一般ノ規則ハ、汝カ行爲ニヨリ

テ人類ノ出來ヘキ丈ク多數ノ享クヘキ幸福カ、出來得ヘキダク大ナラン如クニ勉ムヘシト云フニアリ、故ニ吾人カ行爲ノ善惡ハ、全ク其ノ結果ニヨリテ判スルナリ、即チ結果善良有益ナレハ、其行爲ハ善ニシテ其ノ結果若シ有害不幸ヲ來スモノナレハ、其ノ行爲ハ惡ナリ、此ノ如ク快樂或ハ幸福カ唯一ノ善トスル所ナルヲ以テ、世ノ之ヲ増減スルノ比例ニヨリテ、又善惡ノ度ヲ定ムルヲ得ルモノトス、

左ニ、バソザム氏ノ説ノ大要ヲ掲ク、

天ハ吾人々類ヲシテ宇宙ニ於クル二個ノ主權者ノ下ニ立タシメタリ、二個ノ主權者トハ何ソヤ、曰ク快樂ト苦痛ト是レナリ、吾人カ日常一定ノ事業ハ之ヲ爲ササルヘカラスト云ヒ、又一一定ノ事業ハ之ヲ爲スヘカラスト決スル所以ノモノハ、亦唯此等ノ二者ヲ以テ標準トナセハナリ、而シテ一方ニ於テハ正邪ノ判斷之ヨリシテ生シ、他方ニ於テハ因果ノ關係之ニ屬ス、吾人カ行ヒ、吾人カ言ヒ、將タ吾人カ考フルトコロ、一トシテ此等二者ノ羈絆ヲ脱シ得スト云フヲナシト、是氏カ有名ナル著書道徳及ヒ立法ノ元理ノ開卷第一章ノ語ナリ、然ル後氏ハ更ラニ語ヲ次キテ曰ク、道徳ノ元理ハ最多數ノ最大幸福ヲ得ルニアリ、如何ナル事業ニアリテモ、吾人カ或ハ之

ヲ賞シ或ハ之ヲ難スル所以ノモノハ、皆其ノ吾人カ幸福ヲ或ハ増進スルカ或ハ削減スル傾向ヲ有スルニ由リテナリ、之ヲ利用(或ハ功利主義ト謂フ、利用トハ何ソヤ、曰ク吾人カ利益、快樂、善、幸福、固ヨリ此等ノモノハ畢竟スル所同一物タルニ過キズ)ヲ生シ或ハ又是レハ前ト同一ノ事ヲ唯反面ヨリシテ云フニ外ナラズ、吾人カ苦痛、害惡、不幸ヲ除クカ如キ傾向ヲ有スル事物ヲ取ルコト是レナリ、此元理ハ總ヘテ他ノ元理ノ基本トナリ、他ノ元理ヲ解明スルニ用ラルト雖也、而モ決シテ他ノ元理ニヨリテ之ヲ解釋シ得サルモノナリ、是故ニ此元理ヲ證明セントスルカ如キハ、唯ニ不
必用ナルノミナラス到底不能ノコトナリ、
古往今來之ニ反對スル元理ニ二種アリ、

(一) 隱遁主義

(二) 同感及怨敵ノ元理

ト是レナリ、此等ノ中ニ付キテ第一ノモノハ全ク利用主義ニ反對シ、第二ノモノハ或ハ反對スルコトアリ、或ハ否サルコトアリ、第一ノ中ニアリテモ、又二種アリ、一ハ哲學的ニ養成セラレタル人ノ間ニノミ行ハル、モノニシテ、哲學上ヨリ天下ノ事理ヲ觀シ、以テ退隱ヲ企ツルモノ是レナリ、第二ハ凡人ノ間ニノミ行ハレ、宗教上ノ教ニ

ヨリテ此世界ヲ脱セントスルモノナリ、然レ此等退隱主義モ尙ホ仔細ニ之ヲ研究スルモ、其根底トスル所ノ思想、同シク利用主義ニ出ツルモノニシテ、唯之ヲ誤用シタルニ過キサルトナリ、何トナレハ其ノ退隱スル所以ノモノハ、亦之ニヨリテ以テ自己ノ幸福安全ヲ企望スルニ過キサレハナリ、又或ル論者ハ第二ノ主義ヲ唱道シテ曰ク吾人カ一定ノ行爲ヲ見ルヤ、必ラス直チニ之ヲ賞賛シ、或ハ非難スルノ性ヲ有スルナリ是レニヨリテ之ヲ觀レバ、吾人ニハ同情及ヒ怨敵ノ情ヲ付與セラレ居ルモノナリ、是レ即チ善惡ノ標準トナルモノナリト、然レ此ノ所謂同情ノ中ニハ、果シテ吾人カ幸福ヲ企望スルノ意包含セラレサルカ、是レ甚タ疑フヘキ點ナリト、

利用主義ニアリテハ四種ノ制裁アリ、而シテ皆利用ノ一念ヨリシテ來ラサルナシ、

- (一) 物質的
- (二) 政治的
- (三) 道德的
- (四) 宗教的

ト是レナリ、物質的制裁トハ最モ緊要ナルモノニシテ、他ノ三者ハ皆之ニ由リテ以テ其ノ制裁ノ實ヲ行ヒ得ルモノナリ、物質的制裁トハ吾人カ一定ノ事業ヲ爲スルハ、將來ニ於テ或ハ快樂ヲ生シ、或ハ之ヲ消滅セシムルヲ云フ、政治上ノ制裁トハ、其

ノ行爲ノ制裁カ特殊ナル一人若シクハ數人ヨリナレハ一團體ヨリシテ發シ來ルモノヲ云フ、例之ヘハ國家帝王ノ意ヲ遵奉スル裁判官ノ罰ノ如シ、道德上ノ制裁トハ即チ今ノ所謂社會輿論ノ制裁ヲ云フモノニシテ、社會公衆ノ人民カ、一定ノ法律ニヨリテ之ヲ賞罰スルニアラサルモ、其ノ人民カ自然ニ有スル所ノ性質慣習等ニヨリテ之ヲ賞罰スルナリ、宗教上ノ制裁トハ現世ニ於テカ若シクハ來世ニ於テ、一ノ見ルヘカラサル最上ノ神ナルモノカ、直接ニ吾人ヲ賞罰スト云フニアリ、而シテ其根本的思想ハ幸福ヲ欲シ不幸ヲ惡ムニアラザルナシ、

然ラハ快樂苦痛ノ取捨スヘキ標準ハ將タ何處ニ於テ之ヲ取ルヘキカ、曰ク此標準ニ四種アリ、

- (一) 厚薄ノ度
- (二) 時間ノ長短
- (三) 之ヲ取ルニ確然明了ナルカ、或ハ此ノ如クナラサルカ、
- (四) 直チニ之ヲ取り得ルカ、或ハ長日月ヲ經過セサルヘカラサルカ、

ト是レナリ、然レ且又他ノ快樂苦痛ト關係シテ之ヲ云フモ、

(五) 其取捨スル感情ハ直チニ又同種類ノ感情ヲ繼記セシムルカ、
 (六) 之ニ反シ異種類ノ感情ノ之ニ繼起スルアラサルカ、
 等ノ事情モ亦之ヲ考究セサルヘカラス、又其ノ影響ノ及フヘキ人數ニ付キテ之ヲ云フルハ、

(七) 其ノ感情ニヨリテ感化セラル、人數ノ多少、

ヲモ加ヘサルヲ得ス、一室ノモノハ多數ヲシテ快樂ナラシメ、他ノモノハ單ニ其少數ニ止マルヲアリ、或ハ多數ヲ苦マシメ、或ハ少數ヲノミ苦マシムルアリ、吾人ハ多數ニ關スルモノヲ先トシ、少數ノモノヲ後トナスヘシト、此ノ如ク、ベンザムハ徹頭徹尾快樂即チ善ニシテ、利用ハ是レ人生ノ目的ナリトノ意見ヲ貫徹シ、常ニ之ヲ以テ行爲ノ標準トナセリ、是故ニ氏ハ快樂ニ階級ヲ分タス、「ジョン、スチユアート、ミル」亦功利教ヲ唱フルモノナリト雖モ、氏ハ極メテ篤實公平ノ學者ナレハ快樂ニハ高下ノ別ナシト斷言スルヲ能ハス、一般論者ノ如ク、反リテ精神上ノ快樂ヲ以テ肉體上ノ快樂ニ勝レリトナセリ、是レ「ミル」ノ「ベンザム」ト異ナル所ニシテ、「ベンザム」ノ説ハ「ミル」ニ至リテ其ノ頂點ニ達スル所以ナリ、「ミル」ハ之ヲ

シテ其ノ頂點ニ達セシメタルト同時ニ「ミル」ハ己ニ功利教ノ人ニアラサルナリ、何トナレハ快樂ニ階段ヲ有スルルハ其ノ高下ヲ定ムル利用ノ外、別ニ標準ナカルヲ得ス乃チ功利教ニ於ケル唯一標準タル利用ハ、以テ其主權ヲ擅ニスルヲ能ハサルニ至レハナリ、
 一見スルルハ功利教ノ元理ハ甚タ明了ニシテ、秋毫間然スヘキナキカ如シト雖モ、而モ之ニ對スル疑問ハ二三ニシテ足ラサルナリ、今左ニ少シク之ヲ開陳スヘシ、
 (一) 此元理ハ吾人カ一般行爲ノ規定トナスニ足ラス、吾人ハ一々ノ場合ニ於テ行爲ガ果シテ如何ナル結果ヲ生シ來ルカヲ明ラカニ知ルニアラサレハ、決シテ實用ニ適セサルナリ、又其ノ行爲ヨリシテ社會一般ニ影響スル幸福苦痛ノ度ハ、將タ如何程ノモノナリヤヲ算セサルヘカラス、然レモ天下ノ顯象ハ複雑ニシテ、感化ノ及フ所又限リアルヘカラス、然レモ能ク之ヲ精算スルニアラサレハ、此主義ハ到底其ノ用ヲ就スコナシ、行爲ハ又時トシテ吾人ノ意志ニ反スル結果ヲ生スルコナキニアラス、之レヲ豫メ算シ得ルニアラサレバ、事業ヲ爲ス以前ニ於テ善惡ヲ判定スルヲ能ハサルナリ、

(二) 最大幸福ト云フモ決シテ明了ノコニアラス、幸福ナルモノハ果シテ能ク尺度權衡ヲ用テ物量ヲ秤ルカ如クニ算シ得ルモノナルカ、若シ此ノ如ク明ラカナルコト能ハサルモノナリトセハ、其ノ主義モ極メテ漠然タルナキヲ得ス、且ツヤ唯々人々ノ感情ニ訴フルモノトセハ、吾人ノ感情ハ皆常ニ一樣ニ出ツルコト能ハス、若シ精密ニ之ヲ一致セシムルモノニアラサレハ、到底一個ノ元理トハナスニ足ラサルナリ、何トナレハ人々ニヨリテ異様ニ考フルモノハ、以テ事物ノ標準トナスヘカラサレハナリ、

(三) 次ニ吾人ノ幸福ヲ増進スルカ故ニ善ナリトハ果シテ信ナル乎、結果ヨリシテ行爲ノ善惡ヲ判スレハ、未タ可ナラサルアリ、吾人ノ浮世ニ於テハ最モ純潔慈仁ノ心ヨリシテ成シタル事業モ、時トシテハ非常ニ善惡ヲ釀成スルノ結果ヲ來スナキニアラス、又之ニ反シ、權利ヲ營ミ私慾ヲ逞フセントシテ爲シタル事業モ、圖ラサル利益ヲ社會ニ及ホスコト往々ニシテアリ、善惡ト利害トハ自カラ異ナル所ナカルヲ得ス、此二者ヲ混同スルハ非常ノ謬論ヲ來ス、功利教ハ實ニ此誤リニ陥ルモノナリ、

(四) 假令ヒ最多數ノ最大幸福ナル文字ヲシテ解シ得ルモノトスルモ、吾人ハ何故ニ此ノ如クナスヘキ義務ヲ有スル乎、又如何ナル制裁アリシカ吾人ヲシテ之ヲ實行セシムル、功利教ハ以爲ラク、若シ此ノ如クナサレハ自家ノ幸福消滅スルニ至レハナリト、若シ幸福ナルモノカ、其人々生ノ大目的ナリトセハ、固ヨリ皆之ヲ求メサルヘカラスト雖モ、而モ此ノ如クナレハ愛他ノ功利教ハ全ク自利ノ功利教ト變シ去ラサルヲ得ス、

(五) 終リニ快樂ハ吾人行爲ノ目的トナスニ足ラス、何トナレハ一般ノ快樂ナルモノハ決シテ存セサレハナリ、唯世界ニハ人々個々ノ快樂アルノミ、皆ニ其量ニ於テ異ナルノミナラス、其ノ性質ニ於テ已ニ著シキ差別ノ存スルナリ、即チ或ルモノハ高尚ニシテ、或ルモノハ之ヲ行フモ賞スルニ足ラス、又罰スルニ足ラス、或ル種類ノモノニ至リテハ、明ラカニ不道德的ノモノナリ、功利教ハ實ニ此重大ナル區別ヲ看過セリ、若シ已ニ其ノ性質ニ於テ種々ノ區別アリトスレハ、高尚ナル快樂ト下等ナル快樂トハ、果シテ如何ニシテ以テ之ヲ衡セントスルカ、功利的主義ニアリテハ到底此事ハ判スヘカラサルナリ、是故ニ快樂性質上ニ於ケル區別ヲ許スヤ否ヤ、此

説ハ到底成立スルヲ得サルナリ、

(四) 直観的倫理學

此倫理學ニアリテハ倫理ノ大本ナルモノヲ以テ、唯タ吾人カ内観ノ法ニヨリテ發見セラレ得トナスナリ、如何ナル行爲カ善ニシテ、如何ナル行爲カ惡ナル乎ハ、唯吾人ノ内心ニ問フヘキノミ、内心ハ直チニ吾人ニ向ツテ其ノ善タルト惡タルトヲ誨ユルナリ、行爲ノ善惡ハ全ク吾人カ心裡ノ意志如何ニヨリテ定マルモノニシテ、毫モ其ノ結果ト關係ヲ有セサルナリ、道德上賞ス、ヘキヲハ唯其ノ動機ノ如何ニアルノミト、是レ直観的倫理學ノ功利的倫理學ト大ニ異ナル所以ナリ、此學派ニ又二種ノ別アリ、

(イ) 常識的直観派

此説ハ「リード」ステア「ト」ヘルバルト「スタインタール」諸氏ノ唱フル所ニ係ルナリ、以爲ラク、吾人ニハ常識ナルモノアリ、或ハ之ヲ以テ道德的能力トナス、吾人ニハ此能力ヲ付與セラル、ニヨリ、實際上ノ場合ニ遭遇シ一定ノ事業カ善ナルカ惡ナルカヲ自己ニ反省スルルハ、直チニ其ノ判断ヲ得ルニ至ルナリト、

左ニ「リード」ノ説ノ一斑ヲ掲ケ置クヘシ

吾人ガ行爲ノ目的ニニアリ、

- (一) 自己ニ善ナルモノト、
- (二) 吾人ニ義務ト見ユルモノ、

ト是レナリ、凡ソ吾人々類ハ皆世ノ結果ノ必ラスヤ自己ヲ利スルモノヲ擇ミテ之ヲ爲サ、ルナシ、假令ヒ其ノ手段ノ際ニアリテハ、苦痛ヲ忍ブヲナキニアラスト雖也、而モ其ノ目的トスル所ハ必ラス自己ニ利益アルモノナリ、是レ人性ノ然ル所トス、然レモ唯此ノ如キノミニテハ、吾人ハ満足シテ此世ニ生活スルヲ能ハス、何トナレハ唯自己ノ利害如何ヲノミ顧ミルルハ、決シテ高尚ナル性質ヲ養成スルヲ得サレハナリ、又自己ノ利益ヲノミ考ヘテ行爲スルルハ、反テ幸福ハ之ヲ得ルヲ能ハス、自己ノ幸福ヲ得ンニハ、全ク自己利益ノ念ヲ忘却シ去ラサルヘカラス、加之義務ノ思想ナクハ以テ十分ニ己レノ天職ヲ盡セリトハ云フヘカラサルナリ、然ラハ義務トハ何ソヤ、曰ク義務トハ吾人カ思想ノ中最モ單簡ナルモノニシテ、尙ホ一層簡單ナル思想ヲ求メテ以テ之ヲ解釋スルヲ能ハス、唯語ヲ換ヘテ之ヲ云ヘハ、即チ

吾人ノ爲スヘキ善ノモノ、若シクハ正當ノコトト謂フカ如シ、此思想タル何レノ國ヲ問ハス、人類ノ存スルトコロ必ラス存在スルモノナリ、要スルニ吾人ニハ自然ニ具有スル良心ナルモノアリ、吾人ハ之ニ由リテ以テ直チニ行爲ノ善惡ヲ判スルナリ、管ニ吾人カ自己一身ノ爲シタル行爲ニ付キテ之ヲ判スルノミナラス、他人ノ事業ニ付キテモ必ラス之ヲ判セスト云フコトナシ、又此能力ニヨリテ吾人カ行爲ノ善惡ヲ判スルノミナラス、善タルコトヲ知レハ必ラス其ノ行爲ヲ好ミ、善人ヲ愛スルニ至ル、之ニ反シ、其ノ惡ナルコトヲ知レハ、之ヲ惡ミ、惡人ヲ好マザルナリ、是レ吾人々類ノ性情ニ於テ已ニ然ルモノナリ、但吾人カ是非スル所ノ目的物ニ至リテハ其ノ能力ノ多少、從來養ヒ來レル性質、及ヒ歴史ニヨリテ異ナルアルノミ、而シテ此良心ナル能力ハ吾人カ漸々生長スルト共ニ發達シ去ルモノニシテ吾人カ注意如何ニヨリテ之ヲ養成スルコトモ爲シ得ルモノナリ、是レ人類ニ特有ナルモノナリトス、人ノ意志ハ自由ナリ、即チ人ハ其ノ意志ヲ決定スルノ力ヲ有スルモノナリ、若シ此自由ヲケレハ、吾人ノ行爲ハ全ク外境ノ爲メニ支配セラレヘシ、而シテ行爲ノ責任ナルモノ又消滅シ去ルニ至ル、唯自由ナルカ故ニ、吾人ハ或ハ善ヲナシ、或ハ惡ヲ爲

スコトヲ得ルナリ、何ヲ以テ吾人ハ自由ナル意志ヲ有スルコトヲ知ル乎、曰ク其證次ノ如シ、(一)吾人ハ皆己レノ自由ヲ有スルコトヲ自認セリ、(二)吾人ハ事業ヲ思慮スト云フキニハ、已ニ此事ヲ包含スルモノナリ、自由ヲケレハ思慮スルコトヲケレハナリ、(三)約束ヲ爲スト云フコトハ又已ニ此事アルヲ認ムルモノナリ、(四)後悔ト云フモ亦然リ、必然的ニ爲スモノナレハ後悔スル必要ハ更ラニ之ヲケレハナリ、(五)義務責任等ノ語ノ存在モ亦此事ナルヲ證セリ、(六)又意匠ヲ凝ラシ、工夫ヲ爲スト云フモ然リト、要スルニ、リードハ良心ナルモノヲ以テ、人類カ已ニ具有スル所トナシ、之ヲ以テ行爲ノ善惡ヲ直接的ニ觀シ得ルモノトナスナリ、而シテ其ノ哲學タル唯常識ヲ以テ基本トナシ、別ニ深遠ナル哲學的ノ理論アルニアラス、是レ常識的直觀派ノ名アル所以ナリ、事物ノ善惡ハ平常一般ノ場合ニアリテハ、常識的直觀派ノ學者ノ唱フルカ如ク、吾人ノ常識ニヨリテ直チニ明了ナルコトヲ得ルトスルモ、善惡ノ何レニ屬スヘキカ、之ヲ判スルニ困難ナル場合少シトセス、是レ此學派ノ未タ十分ナルヲ得サル所ナリ

(ロ) 哲學的直觀派

此說ハ「カント」及ヒ「ロツツエ」諸氏ノ唱フル所ナリトス。吾人カ反省的内觀ノ法ニヨリテ、倫理ノ大元ヲ判シ得ルト云フハ前説ト同一ナリト雖也、而モ此レハ吾人ノ常識ノ力ニ歸セスシテ、哲學的ノ議論ヲ其ノ根本トナシ、之ニヨリテ以テ確立セントシタルモノナリ、カントノ言ニ曰ク、善トハ一般ノ法則ニ合スルモノヲ云フト、一般ノ法則トハ何ソヤ、曰ク何人モ其ノ行フ所一般人民ノ模範トナル如クスルヲ要スト是レナリ、吾人カ意志ノ外ニハ、更ラニ善惡ト稱スヘキモノアルナシ、若シ秋毫ノ其ノ結果如何ヲ顧ルアラハ、是レ已ニ善ヲ害フモノナリト、今左ニ「カント」ノ説ヲ略述シ、以テ其ノ傾向ヲ知ラシム、

「カント」ハ以爲ラク、宇宙ニハ唯一ノ絶對的ノ善アリ、之ヲ善良ナル意志トナス、絶對的善ハ唯善良ナル意志ノ外、更ラニ一物ナシ、然ラハ善良ナル意志トハ何ソ、曰ク義務ヲナスノ意志是レナリ、義務ヲ盡スノ法如何、曰ク凡ソ義務ヲ盡スノ行爲ハ、皆其ノ義務ノ爲メニ行フモノナラサルヘカラス、若シ其ノ行爲ノ結果タル、義務ニ協フ

カ如キ觀アルモ其ノ心或ハ利益ノ爲メニナスカ、或ハ他ノ意志ヨリシテナスモノタラシニハ、決シテ之ヲ以テ義務ヲ盡スモノトハ云フヘカラサルナリ、吾人カ義務ヲ盡ストハ、唯其ノ義務ヲ義務ナリト考ヘ爲シタル行爲ニノミ限ルナリ、義務ヲ盡スノ行爲ハ其ノ目的物ノ善良ナルニヨリ道德上ノ價值アルニアラス、唯其行爲ノ道德法ニ本ツキ生スルニヨリテ大ナル價值アルモノトス、故ニ其ノ結果カ有益ナルモ、害惡ナルモ、毫モ其ノ徳性ニハ關係セサルナリ、要スルニ義務ヲ盡ストハ、道德法ヲ重シ、此ノ如キ「ハ」道德法ノ示ス所ナルニヨリ、是非爲サ、ルヘカラストノ心ヨリ爲シタルモノニシテ、自己カ其慣習ヲ有スルニヨリ爲スモノニアラス、而シテ義務ト稱スヘキモノハ、必ラス經驗ニ獨立シ、先天的ニ起ルモノナラサルヘカラス、何トナレハ經驗ヨリシテハ、吾人到底其ノ一般普通ナルモノヲ得ルヲ能ハサレハナリ、已ニ普通ノ性ヲ得ス、從テ又必然ノ性モ得ルヲ能ハス、經驗ハ唯此ノ如シ、或ハ此ノ如ク成リ來レリト云フヲ報スルニ過キサルナリ、若シ道德ヲシテ吾人カ必ラス行ハサルヘカラサルモノナラシメハ、其理法亦必ラス先天的ナラサルヲ得サルナリ、然ラサレハ必然普通ノ二性ハ決シテ之ヲ有スルヲ能ハサレハナリ、

然ラハ道德法ハ如何シテ先天的ニ生シタルカ、曰ク凡ソ人類ハ皆其ノ理性ノ示ス所ニ從ヒ行ヒ、理性ハ常ニ意志ヲ指導セントス、若シ意志カ理性ノ言ニ一致セハ、其行爲ヤ必ラス善ナレド、若シ之ニ反シテ其ノ言ヲ遵守セサルハ、即チ惡トナル、而シテ理性ハ常ニ吾人ニ向ツテ此ノ如クセハ善ナリ、此ノ如クセハ惡ナリト示スモノナレハ、是レ即チ吾人ニ於ケル命令トナル、即チ「カント」カ所謂無上命令ト稱スルモノ是レナリ、故ニ一旦意志ノ發動ト理性ノ示導ト一致セハ、命令ハ消滅スルノ理ナリ、乃チ完全ノ人ニハ命令ナシ、是故ニ又完全ノ人ニハ道德アラサルナリ、何トナレハ凡ソ道德ト稱スルモノハ、義務ニ從フト否ヤトニヨリテ起リ、而シテ義務ハ意志ト理性トカ一致セサルハニ於テ、一カ他ヲ命令スルヨリシテ生シ來ルモノナレハナリ、

吾人ノ守ルヘキ道德法ハ皆自カラ作ル所ノモノナリ、自心ヨリ發シ來ルモノナリ、自心カ自己ニ命スル所ニシテ、決シテ神或ハ他人ヨリ命セラレナレルモノニアラス、自心ノ自由ナル所ヨリ發シ來ルモノナルニヨリ、之ヲ自制ノ元理ト稱ス、自制的元理トハ、他制的元理ニ反スルナリ、凡ソ人ハ皆自己ノ中其ノ目的ヲ有シ、他人ノ手

段トナルモノニアラス、是故ニ人々皆自己ノ主權者タリ、皆能ク自己ヲ制シテ決シテ他ノモノ、制ヲ俟タサルナリ、但シ人ニ皆自己ノ主權者タリト云フハ、吾人カ其ノ無上命令ニ支配セラレ、理性ノ命ヲ聽クハニ於テ始メテ此ノ如ク稱シ得ラル、ナリ、若シ今幸福或ハ他ノ感情ノ爲メニ支配セラレ、理性ノ命ヲ奉セサルハ、是レ已ニ他ノ制ヲ受クルナリ、自己ノ主權ヲ失フモノナリ、自己ノ獨立ヲ保ツ能ハサルモノナリ、蓋シ感情カ理性ノ位置ヲ奪フハ、人間ノ品位ハ滅シ、全ク他物ノ爲メニ支配セラレ、モノナレハナリ、唯人ハ自己ノ中ニ目的ヲ有スルカ故ニ是レ品位ヲ有シ万物ノ靈ト稱スルヲ得ルナリト、

「カント」ノ說ハ唯意志ノ向背如何ニヨリテ事ノ善惡ヲ決スルモノナレハ、其ノ法タル嚴ハ實ニ嚴タリ、然レド氏ノ說ハ單ニ是レ形式タルニ過キサリヲ以テ、一ノ倫理學トシテハ尙ホ未タ足ラサル所ナキヲ得ス、又實際ノ場合ニ當リテハ、秋毫モ吾人ヲ裨益スルコアルナシ、請フ少シク之ヲ云ハ、若シ果シテ「カント」ノ云フカ如ク、倫理法ヲ尊重スルヨリシテ發シタル所爲ノミカ善ナリト云ハ、氏ノ尤モ好マサル感情例之ヘハ愛情同情ノ如キモ又以テ善ト云フヲ得ヘシ何トナレハ善ハ唯理性

ノ命スル所ナレハナリ、又毫モ其ノ結果ノ如何ヲ論セスト云フハ、是レ實質上ト形式上ノ善トノ別ヲ知ラサルモノナリ、若シ氏ノ云フカ如クセハ、如何ナル法ヲモ之ヲ以テ一般普通ノモノトミナサ、ルヲ得サルナキナリ、例之ヘハ他人ノ物ヲ奪フヘシト云フモ、又他人ノ物ハ各其ノ所有主ニ歸スヘシト云フモ、其ニ以テ一般ノ法トナスコトヲ得ヘシ吾人カ實際上ニ於テ前者ヲ禁シテ後者ヲ取ル所以ノモノハ、唯其ノ結果カ社會ニ不安ヲ來スニ由ルノミ、故ニ善ナルモノハ其ノ結果亦多少社會人民ノ幸福安全ト關係ヲ有セサルヘカラサルナリ、其ノ他理性ヲ尊ミテ徒ラニ感情ヲ賤シムカ如キモ、又一ノ僻見ト謂ハサルヘカラス、是故ニ「カント」モ竟ニ其假定ヲ論スルルニ於テハ、亦感情ヲモ欲スルノ止ムヲ得サルニ出テタリ、尙ホ仔細ニ之ヲ驗究シ來レハ、吾人ノ容易ニ服従スヘカラサルノ點實ニ少カラスト雖モ、此ニハ單ニ其ノ大體ヲ示スヲ以テ足レリトセサルヘカス、

(五) 折衷說附雜說

折衷說トハ最近ノ學者間ニ顯ハレタル說ニシテ、佛ノ「マヤチー」一派ノ學者カ主トシテ論スル所ナリ、是レ從來ノ諸倫理學說ヲ折衷シ、加フルニ近代ノ思想ヲ以テシ、

一ノ學說トナシタルモノナリ、是故ニ其ノ唱フル所ハ、前諸說ニ比シテハ公平ニシテ又能ク時事ニ合スルコトナキニアラス、是レ近代學者間ニ於テ最モ多ク行ハル、モノナリ、

今左ニ「マヤチー」ノ學派一斑ヲ掲ク、

吾人ニハ必ラス其ノ竟ニ違スヘキ目的アリ、善是レナリ、已ニ目的トスル所アリ、乃チ吾人ハ又之ニ違セシコトヲ勉ム而シテ此ニ慣習ヲ生ス、之ヲ徳ト云フ、人類ト其ノ目的トノ間ニ一定ノ法則アリテ存ス、之ヲ義務ノ法ト稱ス、尙ホ明カニ之ヲ云ヘハ、徳トハ義務ヲ實行スルコトニシテ、義務トハ善ヲ成スコトナリ、是故ニ已ニ徳アレハ義務此ニ存シ、已ニ義務アレハ善此ニ存ス、若シ善ナケレハ義務モ存スル能ハス徳モ立ツコトナシ、

善トハ何ソ、是レ吾人々類ノ一般ニ求ムル所ノモノナリ、而モ快樂ニアラス、快樂ハ善ノ一ナリト雖モ、善ハ快樂ニアラサルナリ、善ニハ二種ノ別アリ、自然的ノ善ト、道德的ノ善ト是レナリ、自然的ノ善トハ、自然ニ享有スル善良ナル性質ノ如キ是レナリ、是レ「カント」ノ善トセサル所ナリ、然レモ吾人カ能ク道德上ノ善ヲナシ得ル所以

ノモノハ亦唯此等自然的ノ善アルカ爲メナリ、然ラハ善ハ何故ニ之ヲ爲スヘキカ、氏之ヲ解釋センカ爲メニ所謂完美說ヲ採リ來レリ、曰ク吾人ハ漸々完美ノ域ニ近カンカ爲メニ善ヲナサ、ルヘカラサルナリト、然ラハ如何シテ以テ物ノ完美ナルト否トヲ知ルカ、曰ク是レ其ノモノ、活力ニヨリテ之ヲ判スルナリ、凡ソ物完美ニ近クハ愈其ノ活力ヲ増進ス例之ヘハ動物ハ植物ニ比シテ其ノ活力大ナリ、是故ニ其ノ機關亦完美ナリ、完美ナルモノハ其中必ラス整然トシテ亂レサル所アリ、乃チ整然タル活力ハ即チ是レ物ノ高等ナル所以ナリ、此理ハ以テ善ノ高下ヲ判スルニ足ル、是故ニ吾人ハ須ラク其高尙ナル善ヲ擇ミテ、其下劣ナル善ヲ棄ツヘキナリ、次ニ義務ノ法トハ何ソ凡ソ法トハ事物發顯ノ際ニ於テ必ラス從ハサルヘカラサル所以ノモノナリ、義務ノ法ノ他ノ自然法ト異ナル所ハ、之ヲ敬重シ以テ服從スルノ思想ナカルヘカラサルヲ是レナリ、而シテ其ノ理法タル隨意ニナルモノニアラスシテ是レ己レカ理性ノ命スル所ナリ、故ニ義務ノ性ハ之ヲ要スルニ二トナスヲ得ヘシ、

(一) 義務ハ絶對的ナリ、無上命令ナリ、故ニ何人ニモ之ヲ應用シ得、

(二) 義務ハ普通的ナリ、若シ事情同一ニシテ氣質同一ナレハ、同一命令ヲ奉セサルヘカラス、同一事業ヲ爲サルヘカラス、此ノ如ク云フキハ人或ハ曰ハン、斯ク絶對同一ノモノナラハ、道德ハ如何ニシテ進歩スヘキカト、曰ク然ラス是レ道德法ト道德法ノ智識トヲ混同スルヨリ起レル謬論ナリ、吾人カ智識ノ進歩開發スルニ從ヒ、道德法ヲ解釋スルノ方法ハ、固ヨリ異ナラサルヲ得ス、而カモ道德ノ絶對的ニシテ万人ニ同様ナルハ依然トシテ舊ノ如キナリ、

前已ニ之ヲ云フカ如ク、道德的行爲ノ目的ハ善ナリ、此目的ト行爲トノ關係即チ義務ナリ、已ニ善アリ之ヲ求ム、於是乎義務ノ法ニ從ハサルヲ得ス、人ノ此性ヲ得レハ之ヲ德トナス、德ハ一ノカトモ稱スヘク、又一種ノ知識トモ稱スヘク、又以テ法トモ云フヘキナリ、何トナレハ此三者德ノ中ニ含藏セラレ居レハナリ、故ニ德ハ之ヲ定義シテ次ノ如ク曰フヘシ、知力ヲ以テ善ヲ實行スルノ力はレナリト、此ノ如ク折衷說ハ從來ノ學說ヲ悉ク折中シ、以テ其中ニ包含セシメタリ、學者仔細ニ之ヲ研究スレハ、カントノ學說、功利教ノ學說、乃至哲學的倫理學、進化論倫理學、皆

其ノ中ニ包含セラル、ヲ發見スル實ニ困難ニアラサルナリ、
 余輩ハ以上四種ノ學派ニ於テ古來ノ倫理說ヲ彙類シ、以テ其ノ一斑ノ性質ヲ論述
 シ了レリ、然レモ學說ノ多キ、傾向ノ雜多ナル時ニ或ハ此等四種ノ名目ヲ以テ、能ク
 之ヲ包括シ能ハサルモノ之ナキニアラス、例之ヘハ、アリストーテレスノ倫理說ノ
 如キ是レナリ、乃チ氏ノ說ノ一斑ヲ左ニ掲ク、以テ其ノ缺ヲ補フヲ爾リ、
 氏以爲ラク、吾人ノ最終目的ニシテ又何人モ之ヲ得ント欲スルモノハ、幸福之レナ
 リ、凡ソ吾人ノ目的トスル所二種ノ別アリ、一ヲ隸屬的ト云ヒ、他ヲ最終的ト稱ス、前
 者ハ一定ノヲヲサシカ爲メニ其ノ手段トシテ之ヲ爲スモノナリ、即チ科學技藝
 ノ如シ、最終ノ目的トハ吾人カ其ノ物ノ爲メニ事ヲ得ンヲ求ムルモノナリ、吾人
 ハ何故ニ之ヲ求ムルカト問フモ、之ニ向ツテ答辯ヲ與フルヲ能ハス、人生自然ニ之
 ヲ求ムルモノナリ、幸福ハ即チ是レナリ、
 幸福ハ何人ト雖モ必ラス之ヲ求ムト雖モ、而モ幸福トハ如何ナルモノナル乎ニ至
 リテハ、古來諸說ノ紛々トシテ一ナラサルヲ見ルナリ、或ハ善ナル理想ナリトシ、或
 ハ感情的快樂ナリトシ、或ハ名譽功業ナリト云ヒ、或ハ財產德業ナリト云フ、然レモ

是レヲノ說ハ或ハ高尚ニ過キ、或ハ下賤ニシテ取ルヘカラス、凡ソ幸福ナルモノハ
 唯其ノ物ノミニ於テ満足ヲ與フル如クナラサルヘカラス、然ラハ幸福トハ何ソヤ、
 之ヲ知ラント欲セハ先ツ吾人々類ヲ他動物ト比較シテ如何ナル特殊ノ點ヲ有ス
 ルカヲ考ヘサルヘカラス、何トナレハ人類ノ幸福トスル所ハ、自カラ他動物ノ幸福
 トスル所ト異ナラサルヲ得サレハナリ、氏ノ說ニヨレハ人類特殊ノ點ハ、道理ニ從
 ヒテ活動シ、意識アル精神ノ活動ナリト、故ニ人類ノ幸福ト稱スヘキモノモ、此理ニ
 從ヒテ活動スル精神ノ作用ニ本ツカサルヲ得ス、乃チ吾人ノ幸福トハ次ノ如クナ
 ルヘシ、曰ク精神ノ徳ト一致シ、意識アリ活潑ニシテ合理的ニ生活スルヲ即チ是レ
 ナリト
 之ヲ十分ニ了解センニハ、此ニ所謂精神ト徳ナルモノ、何タリヤヲ知ラサルヘカ
 ラス、氏曰ク吾人ノ精神ニハ二種ノ部分アリ、合理的ト不合理的ト是レナリ、換言セ
 ハ、理性ト感性ト是レナリ、感性トハ感覺ヲ與フルノ門ニシテ、理性トハ道理ヲ告ク
 ルノ府タリ、感性ハ理性ヲ動カシ、理性ハ感性ヲ支配シ、之ヲ指導ス、故ニ感性ノ本分
 ハ、理性ニ從フニアリ、理性ノ本分ハ、感性ヲ支配スルニアリ、此二者各其ノ分ヲ守リ、

相侵スヲナクシテハ此ニ徳成ル、徳ニ二種アリ、一ヲ知力的ト云ヒ、他ヲ慣習的ト稱ス、知力的トハ智慧謹慎等是レナリ、慣習的トハ寛大節制等是レナリ前者ハ教誨ニヨリ養成シ得ルモノニシテ、後者ハ慣習ニヨリ進歩スルモノナリ、然ラハ如何ナル慣習カ徳ヲ生スルニ至ル乎、曰ク中庸ヲ探ルノ慣習即チ徳ヲ成ス、所謂徳トハ皆中庸ナリ、例之ヘハ勇氣トハ徒ラニ物ニ恐ル、ト徒ラニ大膽ナルトノ中庸ナリ、是故ニ勇氣アルモノハ、平常物ニ恐ルト雖モ一旦其己レカ爲サ、ルヘカラサルヲ見ルヤ、身ヲ棄テ、更ラニ顧ミル所ナシ又克己節制トハ快樂ヲ貪ルト至ク無情ニ歸スルトノ中庸ナリ、故ニ克己ノ人ハ事ノ爲サ、ルヘカラサルニ當リテヤ、其ノ爲サ、ルヘカラサルモノヲ、其ノ爲サ、ルヘカラサルダケ爲スモノ是レナリ、其他寛大トハ浪費ト吝嗇トノ中庸ニシテ、是故ニ千万圓ヲ以テ人ニ授クルモ以テ寛大トナスヘカラス、十錢ヲモ尙ホ與フル能ハサルモ、以テ寛大ニアラスト云フヘカラス、柔和ハ多情ト無情トノ中庸ナルカ如シ

然ラハ中庸ハ如何ニシテ之ヲ發見スヘキカ、曰ク此ニ三法アリ、

(一) 中庸ニ最モ反對スル極端ヨリシテ己レヲ遠クルヲ、

(一) 己レカ常ニ最モ強キ慾情ヲ有スルモノニ對シテ斷ニス心裡ノ鬭争ヲナスヘキヲ、

(三) 快樂ヲ避クヘキヲ

ト是レナリ、

然ラハ吾人カ行爲ニ於ケル道德上ノ責任ハ何處ヨリシテ生スル乎、曰ク是レ思慮ヨリシテ生スルナリ、思慮トハ吾人カ意志ヲ以テ事物ヲ撰擇スルヲナリ撰擇トハ隨意的行爲ノ中ニ於テ、熟考シ自己ノ意ヲ以テ定ムルヲ云フ、而シテ其ノ熟考ノ目的物ハ、吾人ノ力ニ於テ如何様トモナシ得、而モ其ノ結果ニ於テ不確定ノモノタラサルヘカラス、故ニ永遠不變ノモノ必然的ノモノ、恆變スルモノ、吾人々類ト秋毫ノ關係ヲ有セサルモノ等ハ、皆是レ吾人カ熟考ノ目的物トナル能ハサルナリ、又吾人カ熟考スルモノハ、手段ノ如何ニアリテ、最終ノ目的ハ決シテ之ヲ考フルヲ要セサルナリ、若シ茲ニ二個ノ手段アルモ、其何レヲ取ルヘキカヲ考ヘ、手段カ唯一ナルモ、如何ニシテ之ヲ實行セシカヲ考フ、然ラハ熟考ト撰擇トハ如何ナル別ア

ルカ、曰ク撰擇ノ目的物ハ熟考ト慾望ノ目的物是レナリ、即チ熟考ノ上ニ「好ム」ト云
フ元素ガアルヲ要スルナリト。

次ニ美學ニ付キテ論スヘキナレド、講義ノ時間已ニ切迫シ來リ、僅々ノ回数到底
此項ヲ了スル能ハス、是故ニ美學ノ講義ハ、遺憾ナカラ殊別美學科ノ講義ニ譲リ、
概論ノ内ニハ之ヲ省キ、今年ノ講義ハ此ニ筆ヲ擱ス、

哲學概論終

啓秋

工 T 35

帝

國

圖

壽

朝

藏

終